

## 第4章 平成13年度研究用システムと機能追加のポイント



## 第4章 平成13年度研究用システムと機能追加のポイント

平成13年度研究用システムは、アイテム教材の収集をメインテーマとしているため、これらの機能、及び12年度システムとの変更点を述べることにする。

### 第1節 ウェブサイトの概要

トップページを以下に示す。



図4-1 トップページ

平成 13 年度は、アイテム教材の収集をメインテーマとしているため、画面下部に教材（アイテム教材）登録のお願いの項目を追加している。

内容は、研究趣旨とアイテム教材登録の流れ（画面ではスクロールが必要）が記述されている。

その内容は、

-----  
利用者の皆様へ 教材登録のお願い

このサイトを活用した「教材の新規開発及び普及促進並びに共有化」の研究も今年で最終年度となりました。

この研究成果から、より発展的に指導員ネットワークの場として、また職業能力開発情報の集積・創造の場として活用できるものにしていきたいものです。

この研究を研究だけに終わらせないために、ある程度の教材を整備しておく必要があります。お忙しい中、お手数をお掛けいたしますが、皆様が作成されました教材を是非とも登録して頂きますよう、お願い申し上げます。

教材の登録方法

1 まず、利用者登録をお済でない方は、利用者登録をお願いします。

利用者登録ページへ

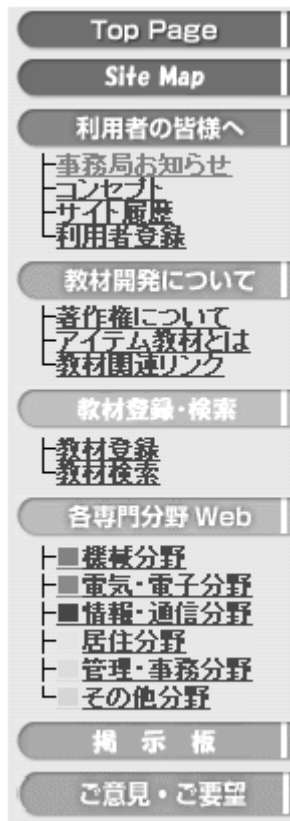
2 次に、登録しようとする教材を、1 ファイルに整理します。登録は、同時に 3 ファイルまで可能です。

教材の大きさの考え方については、アイテム教材とはを参照してください。

3 教材登録ページから、教材を登録します。

教材登録ページへ

-----  
である。



ページ左部は、前年度のメニューに対し、項目の再度の検討を行い以下に整理された。

- ・サイトマップ項目の追加  
ツリー形式でページを表現する。
- ・利用者登録項目の追加  
試行運営に伴い、利用状況の把握を行うため。
- ・データリストの削除  
サイト内容の整理により、指導員業務支援項目の削除
- ・教材登録・検索項目の追加  
アイテム教材を登録閲覧するページへのリンクをわかりやすくした。
- ・掲示板の作成  
試行運営に伴うサイトに関する意見交換の場を設定した。

図4-2 メニュー

## 第2節 アイテム教材登録

### 2-1 利用者登録

本サイトは、研究段階であるため機構の職員に限定して試行運用している。よって本サイトを活用するためには、事前に利用者登録が必要である。登録を行うと、教材の閲覧、登録や各専門分野ページの利用等ができる。

### 2-2 教材登録

各指導員が保有する知識・知恵としての教材を相互に提供し合い、新たな教材を新規に作成することを相互に支援し合うことを目的に、部品としての教材（アイテム教材）を収集している。このような主旨から、登録する教材は、広く公開可能となるものとする。

教材を登録する方法は、次の2つの方法がある。

- ・教材登録フォームを利用して登録を行う。
- ・FTPを利用して、直接教材をアップロードして登録を行う。

#### (1) 教材登録フォームを利用して登録を行う。

この方法は、画面に表示される項目を適切に記入していくだけで、教材の登録が出来る。表現方式が定型化されているので、添付ファイル数や文章の長さなどが制限される。登録フォームの中では、添付したい教材ファイルを指定できる。画像ファイル(GIF, JPEG, PNG)が指定された場合は、その画像の縮小版が表示される。その他のファイルの場合は、そのファイルへのダウンロードリンクになる。(図4-3)

#### (2) FTPを利用して、直接教材をアップロードして登録を行う。

FTPを利用した登録方法では、教材を構成するファイル、ファイルのサイズ、書式などを自由に設計することが出来る。ただし、ページの中で、教材リストを作成するため規定の書式に従ったindex.htmlファイルが必要となる。またFTP、htmlの記述について理解している必要がある。

作成されたアイテム教材は、参考資料として掲載。

## ■教材登録・教材内容の入力■

[中止]

STEP3: 教材の内容を記述してください *赤文字項目は必須入力項目です	
作成者名	<input type="text"/>
所属施設	<input type="text" value="能力開発研究センター"/>
メールアドレス	<input type="text" value="@uitec.ac.jp"/>
教材名称	<input type="text"/>
簡単な説明	<input type="text"/>
専門分野	<input type="text" value="機械分野"/>
技術分野	<input type="text"/>
教材概要	<p>・HTMLタグをご存じの方は、それを利用して文字の装飾をすることが出来ます。          [→利用可能タグとサンプル]          ・URLは自動的にリンクに変換されます。          ・概要は、できるだけ詳しく入力してください。(半角20文字以上)。</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 150px; width: 100%;"></div>
教材ファイル	<p>添付したい教材ファイルを一覧から選んで指定します。          画像ファイル(GIF, JPEG, PNG)が指定された場合は、その画像の縮小版が表示されます。          その他のファイルの場合は、そのファイルへのダウンロードリンクになります。          注意:ファイル名には必ず半角英数字のみを使用してください。          全角文字やファイル名に使えない記号を使った場合は正常に利用できません。</p> <p>File1 <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/></p> <p>(説明) <input type="text"/></p> <hr/> <p>File2 <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/></p> <p>(説明) <input type="text"/></p> <hr/> <p>File3 <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/></p> <p>(説明) <input type="text"/></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての項目を入力したら、内容をもう一度お確かめください。</li> <li>・[登録実行]を押しますと、仮登録処理が始まります。</li> <li>・エラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従いもう一度[登録実行]してください。</li> <li>・登録に成功した場合はこのフォームは閉じてください</li> </ul>	
<input type="button" value="登録実行"/>	

図4-3 教材登録フォーム画面

教材登録フォームを使用したアイテム教材例を以下に示す。

-----  
教材名称

マグネシウム材料の燃焼実験 1

作成者

遠藤 宏光（高度職業能力開発促進センター）endo@apc.ehdo.go.jp

作成日

2002年1月23日（水）

専門分野

機械分野

材料利用技術



溶融しはじめたところ。



火がついたところ。



爆発的に炎上中。



マグネシウム材料は、非常に活性な金属で一度燃焼が始まると消火することは不可能で、燃焼範囲を最小限に食い止める為に消火砂を用い燃えるマグネシウムを封じ込めることが一般的な消火方法として知られています。しかし、マグネシウム材料は現在、比強度が大きい金属として各分野で実用化が進みつつあります。「取り扱いに注意して使用すれば危険なものではない」ということを認識しなければなりません。

写真1. マグネシウムも溶融温度（600度程度）まで熱しなければ燃え出しません。

<バーナーでマグネシウムの製品（携帯電話）をあぶり、溶融し始めたところ。>

写真2. 溶融してからやっと火がつきます。つまり、この様に大きな固まりでは、なかなか火はつかないということです。

写真3. これは、適度に水を混ぜたマグネシウムの粉末に火を付けたところです。マグネシウムが燃焼時に水を得るとテルミット反応を起こし、爆発的に燃焼します。

-----

### 2-3 登録教材の活用

登録された教材は、新たな教材を作成する場合などに活用される。

#### (1) 登録教材の活用方法（検索）

トップページメニューから教材検索を選択、検索語句を入力し該当の教材を表示させる。

#### (2) 登録教材の活用方法（リスト表示）

各専門分野ページにある「教材リスト」から閲覧できる。

## 第3節 推薦図書、Webサイトの登録

このページは、平成12年度システムでは管理者が変更を行うようにしていたが、登録機能を持たせ、利用者から情報を提供できるようにした。